

会 議 議 事 録

会 議 名	平成30年度 学校関係者評価委員会		
開 催 日 時	平成30年6月9日（土） 9：30～11：30		
会 場	東京医薬専門学校 第1校舎2Fミーティングルーム		
参 加 者	委員等	5人	(参加者名) 業界代表 コスメティック・アイダ 神谷 文夫 ONE FOR ALL 横浜 橋本 敦 江戸川区学校歯科医会 室岡 孝二 地域代表 葛西仲町町会 高橋 茂夫 保護者代表 吉岡 純子 東京医薬専門学校 学校長 須田 英明 事務局長 居関 暁昌 教務部長 西田 茂男 学部長 渡邊 光浩 広報センター長 篠田 美和 キャリアセンター長 福田 昌彦 学生サービスセンター長 鈴木 保夫
	事務局	7人	
会 議 録	<p>(1) 学校長挨拶</p> <p>本日はお忙しい中、学校関係者評価委員会にご出席くださりまして大変ありがとうございます。また、本年度から新たに、あるいは昨年度より引き続いて評価委員をお引き受けくださることに重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>評価委員の皆様には毎年評価をしていただいておりますが、本校では実践的な教育を業界・企業と連携しながら進めていることで職業実践専門課程の認定をいただいております。職業実践専門課程は2800校余の専門学校の中では3分の1程度というのが現状で、医療系については3割に満たないとのことであります。この学校関係者評価委員会は職業実践専門課程の認定要件一つとなっており大切なものであります。このあと、様々な報告をさせていただきますので、ご助言・アドバイスを積極的にいただきますようお願いいたします。</p> <p>(2) 委員自己紹介</p> <p>上記出席者の自己紹介を実施</p> <p>(3) 学校関係者評価委員会趣旨説明</p> <p>(居関)</p> <p>職業実践専門課程では、この学校関係者評価委員会を年1回実施することが義務付けられております。趣旨的なことを含めて先ずはお話しさせていただきます。</p> <p>専門学校は学校制度の中、専修学校専門課程に該当します。現在2822校、職業実践専門課程は954校になります。</p>		

職業実践専門課程の認定の5つの条件があります。特徴的な部分では、企業等と連携してカリキュラムを作っていく、あるいは実習を行っていく、あるいは職員の研修を行っていくというように、より企業連携をしている課程となります。本校では要件を満たさない1年制学科以外の10学科が認定を受けています。

学校関係者評価については、学内で自己評価を行なった結果について評価していただき助言等を行なっていただき、より良い学校運営をしていくことがこの会の趣旨となります。

(4) 評価

①教育理念・目的・育成人材像

(居関)

学園のミッションは「職業教育を通じて社会に貢献する」ことであり、「実学教育」「人間教育」「国際教育」を理念としています。また、学園グループとしての組織運営を行っています。

育成人材像については、学生便覧にも明確に記載し、学生や講師に伝えています。

教育理念・目的・育成人材像については、できていると自己評価しています。

②学校運営

(居関)

事業計画・収支予算計画で、組織目的・運営方針等々を5カ年の計画を定めて運営しています。単年度の運営方針では、教育広報の一体改革、入学定員充足100%、選択と集中、医療健康の総合学校のブランドを作り上げる、組織のイノベーション、卒業生ネットワークの構築等をあげています。

学校組織図・職務分掌・意思決定システム・会議研修・業績評価システムについて紹介。

学校運営についても、自己評価では概ねできていると思います。

③教育活動

(渡邊)

学内での評価については、教育課程編成委員会を年に2回実施して、それぞれの学科において最新の業界の情報を得た上でカリキュラムに反映しています。また、実習担当者懇談会または実習施設訪問等でも情報収集を行っています。

教育内容の工夫については、教職員の研修で使用している学生サポートハンドブックを活用し、専門職業教育とキャリア教育の実践に活用しています。研修についても、経験年数等に応じて段階的に実施しています。

授業評価と授業改善については、昨年度より授業改革プロジェクトを実施し、アクティブラーニング等の推進を図っています。また、授業アンケートや講師アンケートを実施し、授業評価を行い改善に努めています。

成績評価・修了認定基準については、学生便覧内に学則施行細則を明記して学生に説明を行っています。

学生の受賞状況・業績については、成果に応じ学園・学内で表彰制度を設けています。

目標資格の指導体制については、学園内に国家試験対策センターがあり、情報の収集や対策の提供を行っています。

教員の資質の向上については、教員個々の現状に合わせた多くの研修プログラムを行なっています。

④教育成果

(福田)

就職率の向上については、就職活動より国家試験対策を優先し、就職活動が国家試験後となるケースがあり、早期内定できないことが課題です。

就職活動状況については、4つのシートで毎月2回把握をして指導・支援を行なっています。

(渡邊)

資格取得については、全員受験を原則として全員合格を目指しています。

昨年度は複数学科で合格率100%達成できました。また、不合格者については卒後に無料で受講することができます。

卒業生の活躍等については、複数のホームページを作成して掲載を行なっています。

⑤学生支援

(福田)

就職支援体制については、卒業年次担任を中心に支援するとともに、昨年度は学内行事として業界説明会(4回)・模擬面接会(3回)を行いました。

また、就職マニュアルを作成して配布説明を行っています。さらに、求人票については紙ベースでなく、スマートフォンで閲覧できる環境になっています。

(渡邊)

退学率の低減については、現状は残念ながら増加しています。退学理由の傾向としては、心身の健康と経済問題が増加傾向にあり、事由の多重化のケースも増えています。担任の研修でも対応していますが、昨今は専門的な要素が必要な場合が多く、スチューデントサービスセンターも活用しているが難しい状況になっています。

(篠田)

留学生については年々増加しており、以前は中国・韓国のみでしたが、現在は6カ国の留学生が在籍しています。留学生の支援に関しては、学園の国際センターのサポートを得ながら支援をしています。

(鈴木)

経済的支援体制については、学校独自の奨学金制度はありませんが、学費の減免制度・分納制度等を用意し、募集要項にも記載しています。

(篠田)

学生の健康管理については、医療法人慶生会を学園で運営しており、内科・歯科の受診が可能となっています。メンタルに関するサポートについては、トータルサポートセンター(学生相談室)を設置して学生の心のケアの支援をしています。

学生寮については学園で18寮完備してします。

(渡邊)

課外活動については、学内にはクラブ・サークルはありませんが、学生からの要望があった場合には対応していきたいと考えています。

保護者との連携については、成績の周知は勿論ですが、保護者会を年1回実施しています。また、担任からは随時状況を報告しています。

(福田)

卒業生の支援体制の例としては、昨年度実施した言語聴覚士科での卒後セミナー、くすり総合学科・化粧品総合学科の同窓会の様子を紹介します。

卒業生のキャリアアップ支援はセミナーを学内で実施しています。また、同窓会については本年度も2学科で実施し、次年度は40周年記念行事として全体の同窓会を開催予定です。

(篠田)

社会人経験者のニーズに対する整備としては、夜間学科の設置、土日祝日開講学科の設置をしています。また、教育訓練給付金制度の認定申請を行なっています。

⑥教育環境

(渡邊)

施設設備の教育環境については、後ほど校舎見学を行いますのでご覧いただきたいと思います。

海外研修については、海外との連携先・業界で研修を実施し、ハワイ・デンマーク・フランス・ロスアンジェルスに行っています。

防災体制については、職員は防災マニュアルを携行しており、緊急連絡網・安否確認システムでメール配信も可能です。また、緊急地震速報システムも設置しており、全学生数職員数の非常食も3日分常備しています。津波警報発生時の避難場所も全教室に掲示しています。

⑦学生の募集と受け入れ

(篠田)

高校への教育情報提供については、入学案内の冊子のほか、ホームページで提供しています。また、ブログでは授業の様子等も定期的に更新して提供しています。学生募集・入学選考・学納金に関しては、募集要項に細かく記載して公表しています。

⑧財務

(鈴木)

財務基盤・予算計画については、事業計画で5カ年を見通した収支予算計画の策定を行っています。また、執行状況については、学園・学校全体は勿論、学科ごとに過去3年間の損益計算書での確認や、部署別で毎月の執行状況の確認も実施しています。

会計監査については毎年実施し、監査報告書とともに財務状況を毎年ホームページで公開しています。

⑨法令等の遵守

(鈴木)

法令遵守については学園内にも、コンプライアンス委員会を設置して情報発

信や研修等も行なっています。

個人情報保護については、トラスト E のほか、全ての教職員が CPA カデミックの資格を取得し、毎年更新の研修を受けています。

自己点検・学校関係者評価・教育情報の公開はホームページで行なっていますのでご確認ください。

⑩社会貢献

(渡邊)

学校の教育資源を活用した社会貢献として、子供さんへの仕事体験・消防団活動等を行なっています。

グローバル人材育成については、海外研修の実施となります。

ボランティア活動の奨励については、学科ごとに地域の行事等に積極的に参加しています。

(5) 教育環境（教室・実習室）見学

西田の引率・説明により、第1～3校舎の教室及び実習室を見学。

(6) 総評

(高橋)

素晴らしい設備を見せていただきありがとうございました。町会として、消防団にも協力いただきありがとうございました。いい勉強になりました。

(吉岡)

何度か来校していますが、改めて設備が整っているのを見て、迷わず直ぐに仕事ができることを実感しました。

(神谷)

毎回素晴らしい内容だと思っております。また、学生さんをお預かりしますので、日頃からの教職員方の指導を感じおります。

この5年で、入社社員の状況として精神的な面で問題を抱える者が増加しています。生まれた時からモニターで育ち、社会に出れば対人対面でぶち当たり、ちょっとしたお客様からの叱責でも会社に出てこられなくなることがあります。今後も直面する課題であり、学校も同様に苦勞されていると感じました。

(橋本)

私どものグループには、多くの卒業生に就職いただいています。実習生をお預かりする関係で他の学校の方ともお話しする機会も多いのですが、学科の定員確保に苦戦しているという話をよく聞きます。

学校の取り組みも、早くからされているので評価されると思いますし、これだけの内容でできているのもなかなかないのではないかと思います。少々堅いかなと感じたくらいです。

色々な学科があり、他の専門学校との差別化できる部分でありますし、新学科構想についても陰ながらお祈りしております。

(室岡)

大変良くできた学校だと思います。ちょっと堅苦しいぐらいですが、それくらいやっついていかないと緩みが出て、国家試験の合格率が下がる恐れがあると思います。

(学校長)

委員の皆様、本日はありがとうございました。

ご意見を頂戴しまして、正直なところ自己評価では全ての項目が優れてる訳ではありませんし、全ての学生が目を輝かせて授業を受けている訳でもありませんので、まだまだ授業を変えていかなくてはならないことを強く感じています。

国際交流の面では、まだまだ大学のようなにはいきませんので、さらに充実を図る必要があると思います。

就職率については姉妹校でも、学校は卒業するが就職しないという学生が増えていますので、卒業生に対する就職率の向上を考えていかなければならないと思っています。

課外活動については、学生自身が希望することが少ないので、体制だけ作らざるを得ないと思います。

本日の会議を経て、皆様からのご意見を頂戴しますので、それを反映して、本校の教育の質向上に役立てていきたいと思っています。

本日は誠にありがとうございました。

(7) 諸連絡

評価表等をご記入の上、お配りした封筒にて返送をお願いします。

以 上